

# <第2分科会>

障害のある幼児児童生徒に対するキャリア教育の推進について  
～課題解決の過程の肯定的な評価の実施を通して～

～キャリア教育とは～

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、  
キャリア発達を促す教育」

※キャリア発達「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実践していく過程」

## 1. はじめに

本研究グループでは、各校の課題について協議したところ、児童生徒が係活動や作業学習等を「やらされていると感じている」「意欲的に取り組めない」という様子が見られることが挙げられた。解決方法として「できたことを児童生徒にわかる形で評価をする。」「自信、意欲を持たせる評価をする。」等の意見が出た。そこで、児童生徒が自信を持って物事を進めていくためにも、結果に対する評価だけではなく、途中経過の評価が必要であると整理し、「課題解決の過程の肯定的な評価」を行うことで、キャリア発達の高まりを計ることとした。

## 2. 仮説の設定

課題解決の過程を、肯定的に評価することで、児童生徒のキャリア発達を促すことができるだろう。

「課題解決の過程の肯定的な評価」とは

授業のある場面で、児童生徒に課題設定をし、その解決方法を考えさせ、考えた解決方法を評価すること。

## 3. 研究の内容及び方法

(1) 課題解決の場面を設定し、その過程を評価する。

### ① 課題解決の場面の設定

将来目指す姿のワークシートを作成し、児童生徒の将来目指す姿から現在の課題を整理して、自分で考えて解決する課題を設定した。

### ② 課題解決の過程の評価の工夫

児童生徒が課題に対して考えたり挑戦したりする過程を評価するために、自己評価や他者評価などの多様な評価や、ICTの活用によって児童生徒自身が分かる評価の工夫をした。

(2) 授業における児童生徒の行動観察

検証の方法：ベースライン期と指導期で児童生徒の変容を比較⇒キャリア発達の評価基準を設定。

※キャリア発達評価シート＝児童生徒の具体的な行動や発言に関する評価の観点を記入。

## 4. 研究のまとめ

**成果** 課題解決の過程を、肯定的に評価することで、児童生徒のキャリア発達を促すことができることがわかった。

**課題** ○評価の方法とその効果の検討  
○キャリア発達の評価基準の最適化